

【警報】ヒグマによる事故を防ぐために 秋の「ヒグマ注意特別期間」を (H23-10-18) 9月10日(土)～11月30日(水)まで延長します



ヒグマ出没地と付近の家庭菜園



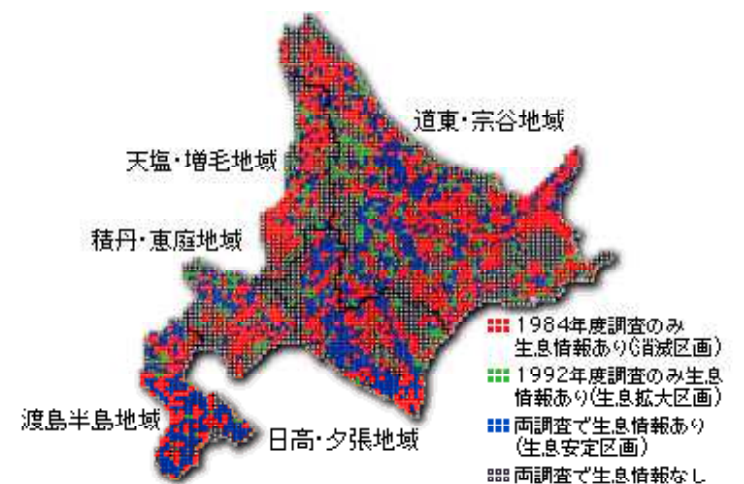
ヒグマ出没地付近のコンポスト(たい肥)

1 ヒグマに遭遇しないために…厳重に注意！ (遭遇した場合は、走らずに静かに退去)

- ★**野山に入る前に** (過去20年の比較で捕獲総数で約2倍 (H3～12年度 平均約 245 頭、H13～22年度 平均約 458 頭) 地元の市役所・町村役場や土地管理者などから、事前にヒグマの出没情報を確認してください。ヒグマの出没情報・看板、足跡など痕跡がある場所は、危険ですので立ち入らないでください。
- ★**ヒグマに会わない工夫を** (平成23年秋は厳重な警戒が必要)
今年秋季の実なりは地域差が見られますが、全道的に不作～凶作傾向で、エサ不足などにより恒常的な生息地からさらに外側の農地や集落、市街地への大量出没が発生していますので、厳重な警戒が必要です。
ヒグマ目撃数・捕獲数も過去最多 H13～22年9末平均→H23.9末比較 目撃数約580→848頭 捕獲数約300→488頭 (速報値)
一時の出没をきっかけにその後、人里が利用可能な環境であるとヒグマが学習している可能性があります。
ヒグマの出没が予想される野山には出かけないようにし、行く場合には、集団での行動を心掛けましょう。鈴などの鳴りものを携行したり、見通しの悪い場所では笛を吹くなど、音を出す工夫をしましょう。特に、早朝や夕方、濃霧時や降雨時、河川や沢沿い、見通しの悪い場所は注意しましょう。
- ★**野山での飲食の際に** (人間の飲食物の臭いや味に馴れさせない)
臭いの強い食料やジュース類はヒグマを引き寄せる場合がありますので、控えましょう。野山にゴミを捨てたり埋めたりせず、残飯、空き缶などのゴミは必ず持ち帰りましょう。
- ★**住宅地や農地周辺の注意** (ヒグマの誘引物の管理重要、近年、集落や都市近郊にも出没)
人間の食べ物はヒグマのエサともなるので、適切な管理が必要です。農作物(家庭菜園を含む。)は早めに収穫し、11月以降は、コンポスト(たい肥)や漬け物が狙われますので、撤去や管理の徹底を図ってください。これらの発酵臭はヒグマが非常に好む香りと言われ、ヒグマが居着いてしまった事例が報告されています。

2 ヒグマに遭遇したら…冷静な対応！

- ◆**まず落ち着く**
あわてず、落ち着いて状況判断をしましょう。特に、走って逃げると追いかけてくることもあるので、危険です。
- ◆**ヒグマを刺激しない**
ヒグマが気づいていないようであれば、静かに立ち去りましょう。距離が近い場合は、視線をそらさずゆっくりと後退してください。
- ◆**持ち物を取られたら**
ヒグマに持ち物などを取られたときは、あきらめましょう。



ヒグマ生息状況 (全道に分布)

野山に出かける際には細心の注意を

野生のヒグマとの遭遇については様々なケースがあり、これで絶対安全という対処方法はありません。ここに示した内容については、調査研究や経験から有効と考えられている方法です。

なお、野山でヒグマに遭遇したり、足跡などの痕跡を見つけた場合は、各総合振興局・振興局環境生活課自然環境係や地元市町村役場などに、情報をご提供ください。

【問い合わせ】

北海道環境生活部環境局自然環境課 電話 011-204-5205
各総合振興局・振興局保健環境部環境生活課

【重要】11月末までヒグマ出没に厳重な警戒が必要です。

